

第1学年 国語科学習指導案

日 時 令和2年11月12日 5校時

児 童 1年1組男子6名女子5名計11名

指導者 田村美沙子 支援者 高橋 純子

1. 単元名 くらべてよもう ～教えてあげよう。見たよ・聞いたよ・知ってるよ・乗ったよ～

教材名 「じどう車くらべ」(7時間)

2. 教材について

本教材は、「挿絵や文章を対照しながら読み、さまざまな自動車の「しごと」やそのための「つくり」について考えたり、比較したりして感想をもつこと」をねらいとした説明文教材である。

教材では、児童が興味・関心を示す「自動車」を取り上げている。そのため、挿絵と自分の体験や知識と結び付けて、様々な感想を持つことができる教材である。第1段落では話題提示と2つの問題提示、第2～第4段落では、3種類の自動車の「しごと」と「つくり」について説明している。「どんなしごとをするのか」そのために「どんなつくりになっているのか」という明確な構成になっている。そのため、自動車を比べるにあたって、「しごと」「つくり」という観点が得られれば、いくつでも挙げていくことが可能である。2つの観点と、「そのために」でそれらがつながっていることを、読み取りを通して認識させる事に適した教材であると考ええる。

3. 児童について

児童は、これまでに『くちばし』で、「問い—答え」の繰り返しで構成された文章を、また『うみのかくれんぼ』で、「問い—答え—答え—答え」で構成された文章を挿絵と照らし合わせながら読んできた。

この学習を通して、文末表現をよりどころに、問いと答えの文を見つけることができるようになってきている。一方で文章の順序に気をつけながら内容の大体を読むことや、目的に合わせた大事な言葉や文を探し出す力に関しては課題がみられる。

本単元を通して、事柄の順序を意識して必要な情報を得て説明することや、もっと詳しく教えてあげるために、自分の知識や体験と結び付けた情報を付け加えて説明することの大切さを指導したい。

4. 指導にあたって

本単元では、「しごと」と「つくり」と自分の知識や体験と結び付けて感想をもつことを重点として指導する。そのために、お気に入りの自動車を選んで、「しごと」と「つくり」を友だちに紹介する言語活動を単元を通して位置付ける。

児童が資質・能力を身に付けていくために、下記の点を工夫して指導にあたりたい。

単元の導入においては、「お気に入りの自動車を選んで、「しごと」と「つくり」を友だちに教えてあげよう。」を学習課題に設定する。その際、「知っているよ!」「みたよ!」「きいたよ!」「のったよ!」という観点を示すことで、「しごと」と「つくり」と既存の知識や体験と結びつけさせるようにしたい。

構造と内容の把握、精査・解釈では、「じどう車くらべ」の文章の組み立てを考え、4種の自動車の「しごと」と「つくり」の関係性を捉えさせていく。

考えの形成・共有では、今まで読んだ図鑑の中から自分が気に入った自動車を選び、「しごと」に合った「しごと」を考えながら、簡単な自動車カードを作る。そして、それぞれの「しごと」と「つくり」と、「知っているよ!」「みたよ!」「きいたよ!」「のったよ!」の観点とを結び付けさせていきたい。

その後全体交流として、友だちの説明を聞いたことで、気づいたことなどの感想を発表しあい、「知っているよ!」「みたよ!」「きいたよ!」「のったよ!」の観点があれば、さらに詳しく説明できることに気付かせたい。

5. 本時の指導（7/7）

(1) 本時の目標 お気に入りの自動車の「しごと」と「つくり」と、自分の知識や体験と結び付けて教えあう。

(2) 展開段階

	学習活動	学習内容	指導上の留意点と評価
つかむ 5分	1. 本時の学習課題をつかむ。 おきにいりのじどう車をもっと、ともだちにおしえてあげよう。		
	2. 学習を見通す。 (1) 教師の自動車カードをみて、友だちにもっと教えてあげたいことを確認する。	○もっと友だちに教えてあげたいことを観点から選ぶ。	・「知っているよ!」「みたよ!」「きいたよ!」「のったよ!」の四つの観点を示す。
考える 37分	3. 課題を解決する。 【個人】 ・もっと教えてあげたいことを四つの観点カードから選ぶ。 【ペア・グループ】 ・教え合う。 【全体】 ・友だちに説明してもらったもっと教えてあげたいことを聞いて、気づいたことなどの感想を交流する。(分かったことや気づいたことや面白かったこと) (四観点をもう一度発表する)	○もっと教えてあげたいことを考える。 ○話す側はもっと教えたいことを説明したり、聞き側は質問したりしながら交流する。 ○友だちの説明を聞いて分かったことや気づいたことなどの感想を言う。	・もっと教えてあげたいこと キーワードにすることを確認する。 ・ペア・グループは仕事と同じもの同士で教え合う。 ・話し合いの途中に、面白い結び付け方をした児童や、生活体験と結びつけた児童や、友だちの説明にいい感想を言った児童を見つけ、教師がみんな
			評価規準 お気に入りの自動車の「しごと」と「つくり」と、自分の知識や体験と結び付けて教え合おうとしている。[発言] ・児童が書いたカードを掲示したり、板書したりして交流したことを整理していく。
振り返る 3分	4. 振り返る。 ・課題に対してまとめをする。 「みたよ」…があると、くわしくせつめいすることができる。	○話し合いを通してのまとめをする。	・四つの観点があると、お気に入りの理由がはっきりすることを実感させる。

じどう車くぼん
かだい

おきにいりのじどう車を、もつと
ともだちにおしえてあげよう。

救急車のしごと・つくり

もつとおしえてあげるために
・しっているよ！
・みたよ！
・きいたよ！
・のったよ！

まとめ

「みたよ」…があると、くわしくせつめ
いすることができる。